行動障害がある方に対しての意思決定支援とは？
＊支援者向け

- 事例を元に研修を行いましたが、このレジメは事例部分は省き、意思決定支援のみピックアップしています。

- どの方にも伝えたい内容です！
- 本人の意思決定支援になっていますか？
- ご家族の意思が最優先になっていませんか？

- 行動障害の方はまずは安定からです。安定すると自身で決める力が付いてきます。

愛知県知的障害者福祉協会日中活動支援部会
意思決定支援研修会

行動障害がある方に対しての意思決定支援とは？

株式会社あいぽ
放課後等デイサービスあいぽ・生活介護あいぽ
ヘルパー事業所あいぽ
代表　奥山　善仁

～１５年の在宅生活から支援につないだ半年間の実践～

全てのことを拒否して荒れた生活を送っていた方に対して、【構造化】を用いて生活を整えた実践例を元に意思決定支援を考える。

＊事例は省略

自閉症や強度行動障害の方の意思決定支援とは？

この事例から意思決定支援を考えるポイントになる点

- 提供することに関しては、全てのことに拒否
- 歩き回る・壁を叩く・女性に抱き付く
- 自閉症＝想像力の障害
  →自分が知らないことは選択できない

落ち着く術を自身が知らない為、行動障害に発展してしまっている可能性が高い
希望を叶えるだけでは行動障害は減らない

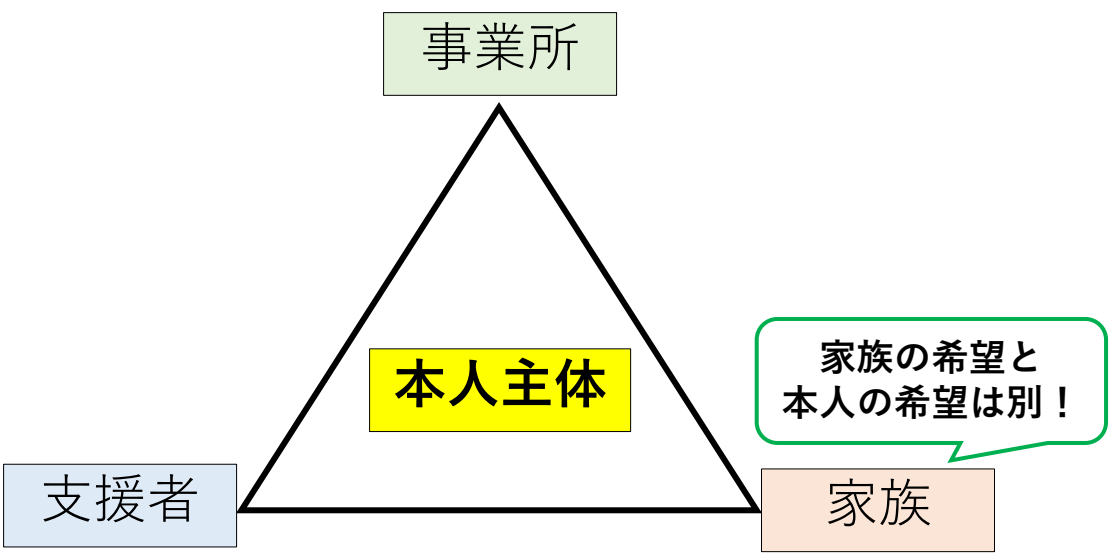
本人に意志を確認できる段階に到達していますか？

・荒れた状態で意思の確認や尊重してもそれが本人の幸せには繋がらない可能性が高い

・本人の能力に合わせた確認方法ができていますか？

・意思を確認することで、逆に崩れてしまっていることはありませんか？

家族の希望は本人の希望？



グループワーク

強度行動障害の方に対する意思決定支援を改めて話し合ってみましょう

・単純に本人が希望することを行った時はうまくいったのか

・本人の能力に合わせれるように配慮を入れながら、意思決定支援を行なえているか

・家族の意向になっていないか

・一般的な意思決定支援を行動障害の方に当てはめる難しさを共有してもOK。支援会議に本人参加等